

## 留学生の声エッセイ 経済学部 カリシニク・ニーナ

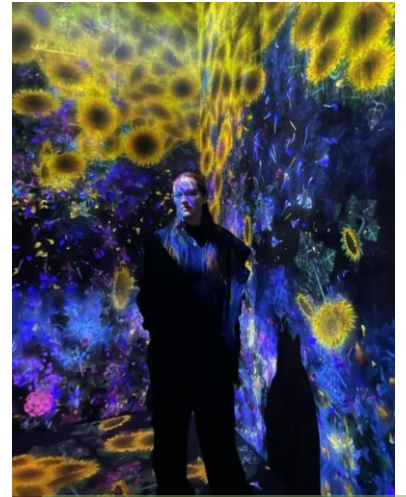
### 冒 険

皆さん、はじめまして。リュブリャーナ大学のアジア研究学科の修士課程に在籍しているカリシニク・ニーナと申します。ここ城西大学では、経済学部で勉強しています。

日本に戻ってきてから、もうほぼ9ヶ月が経ちましたが、その間に本当にいろいろなことがありました。私はスロベニアから城西大学坂戸キャンパスに来た初めての学生であり、来日前はとても緊張していました。一人で来ることになり、何が待っているのかわからず、何を期待すればいいのか教えてくれる先輩もいませんでした。本当に未知の世界への飛び込みでした。確かに、話を聞くのと実際に体

験するのは全く違います。

それでも、すべての不安や困難にもかかわらず、日本に戻ってきて本当に良かったと思います。城西大学での勉強は、日本がどれほど色鮮やかな国であるかを教えてくれました。JIST や国際センターのサポートのおかげで、新しい思い出を作るのを助けてくれた人々との出会い、学校内外での経験は素晴らしいものでした。この大冒険の初日から歓迎されていると感じました。日本に何が待っているのかを見ようというオープンな気持ちで来ましたが、私の期待は裏切られず、日本を新たな視点で見ることができました。



デジタルアートミュージアム



白い恋人の工場と博物館

ここ数ヶ月間、大学の仕事で忙しい日々を過ごしていましたが、それでも様々な場所を訪れる機会がありました。冬休みには、ずっと行きたいと思っていた北海道を訪れました。私は雪が大好きですが、残念ながら坂戸には雪がありません。時間の都合でほとんどの時間を札幌で過ごしましたが、それでも魔法のような体験でした。まるでおとぎ話の世界のようでした。



北海道神宮



雪祭り

特に、北海道神宮や白い恋人パークを訪れたことを鮮明に覚えています。雪のために雪に覆われた地域に行くのは時間とエネルギーがかかりましたが、それでも本当に価値がありました。その時、札幌の中心部では有名な雪祭りも開催されていました。友人と一緒に見た

彫刻はカラフルなライトに照らされていて、どれも独特でした。今はそれが終わってしまいましたが、再び訪れて田舎の自然や隠れた美しさをもっと探求したいと思っています。

その後、私の生活は少し落ち着きました。責任を果たしながら、友人たちと一緒に近くのエリアを訪れる時間が増えました。春になり、花が咲く季節には、美しい公園や友人たちとのピクニック、博物館や水族館への訪問で時間を過ごしました。自然を見ることには何か魔法のようなものがあります。そこに何があるのか、私たち人間はそれをどう見ているのか。そして、どう理解し、他の人にその印象を伝えるのか。

6月が到来し、大学が再び中心に戻ってきました。それでも、毎日を楽しんでいます。一步一步、今の瞬間を大切にしながら、未来の計画や希望を抱いています。これからも多くの場所を訪れ、新たな隠れた宝物を発見したいと思います。永続する友情や、どこか静かで穏やかな場所に...どこになるのかはまだ分かりませんが。



新しい思い出を作り、過去の思い出に浸る

